

5400プリンターをLPR接続で使用するためのAIX構成

テキストファイルもしくは、お客様が5577形式変換済のファイルを印刷するための、AIX構成を記します。
 (AIXのバージョンには依存しません。)
 このガイドの対象プリンターは、5400-006 (LANフィーチャー付き)、5400-L02/L06/L10、5400-S06です。

1 5400プリンターの構成

5400プリンターをLPR接続・5577エミュレーションモードで構成します。

以下の項目が、構成に必要な項目です。これ以外のお客様の印刷に関わる項目については、「プリンター設置と操作の手引き」を参照して設定して下さい。

項目	説明	ユーザーの値
インターフェースポート	接続形式は“LPR”を選択します。	LPR
エミュレーション	エミュレーションは“5577”を選択します。	5577
IPアドレス	プリンターに割り当てたIPアドレスを指定します。	
サブネットマスク	サブネットマスクを指定します。	
デフォルトゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを指定します。	
LPRタイムアウト	LPRの印刷ジョブに対するタイムアウトの時間を指定します。	

2 AIXの構成

AIXでプリンターを構成するには、以下のデータが必要です。

パラメータ	説明	ユーザーの値								
AIX印刷待ち行列の名前	プリンターに割り当てたAIX待ち行列の名前。									
ホスト名	プリンターのホスト名またはIPアドレス。									
リモート・プリンターの待ち行列名	LP1,LP2,LP3,LP4のどれかを指定してください。 待ち行列名別に、以下の処理を行います。									
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>LP1</td> <td>印刷データは変換しません。</td> </tr> <tr> <td>LP2</td> <td>改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換します。</td> </tr> <tr> <td>LP3</td> <td>印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。</td> </tr> <tr> <td>LP4</td> <td>改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換し、印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。</td> </tr> </tbody> </table>	LP1	印刷データは変換しません。	LP2	改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換します。	LP3	印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。	LP4	改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換し、印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。	
LP1	印刷データは変換しません。									
LP2	改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換します。									
LP3	印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。									
LP4	改行コード (LF 0x0A) を改行 + 復帰 (CR 0x0D + LF 0x0A) に変換し、印刷データの最後に改ページ (FF 0x0C) を付加します。									
日本語文字コード	プリンターに送信する印刷ファイルの文字コードは、“IBM-932 日本語 (PC)”にする必要があります。									

2.1 構成手順

1. コマンド行に、smitty mkvirprtと入力し、Enterを押します。**印刷キューの追加 (Add a Print Queue)** ウィンドウが表示されます(以下の画面図は、AIXのバージョンにより若干異なる場合があります)。

印刷キューの追加	
カーソルが必要な項目に移動して、ENTER キーを押してください。 矢印キーでスクロールできます。	
# 接続タイプ	記述
local	ローカル・ホストに接続されたプリンタ
remote	リモート・ホストに接続されたプリンタ
xstation	Xstation に接続されたプリンタ
ascii	ASCII 端末に接続されたプリンタ
hpJetDirect	ネットワーク・プリンタ (HP JetDirect)
file	ファイル (/dev ディレクトリ内)
ibmNetPrinter	IBM Network Printer
ibmNetColor	IBM Network Color Printer
other	ユーザ定義バックエンド

2. remote (**リモート・ホストに接続されたプリンター (Printer Attached to Remote Host)**) を選択し、Enterを押します。**リモート印刷のタイプ (Type of Remote Printing)** ウィンドウが表示されます。

リモート印刷のタイプ
カーソルを選択したい項目へ移動して ENTER キーを押してください。
標準処理 サーバ印刷待ち行列属性に NFS アクセスする標準処理 印刷サーバに送信する前にローカル・フィルタ処理を行う

3. **標準処理 (Standard Processing)** を選択し、Enterを押します。**標準リモート印刷待ち行列を追加 (Add a Standard Remote Print Queue)** ウィンドウが表示されます。

標準リモート印刷待ち行列の追加	
フィールドの値を入力または選択してください。 変更を完了したら ENTER キーを押してください。	
	[入力フィールド]
* 追加するキュー名	[]
* リモート・サーバのホスト名	[]
* リモート・サーバ上のキュー名	[]
リモート・サーバ上のプリント・スプーラのタイプ	AIX Version 3 or 4 +
バックエンド・タイム・アウト間隔 (秒)	[] #
先に制御ファイルを送信する	いいえ +
デバッグをオンにするには、出力ファイルの パス名を指定してください。	[]
リモート・サーバ上のプリンタの記述	[]

4. パネルの記入を完了します。以下に記述例を示します。

フィールド	サンプル値	ソース
追加するキュー名 (Name of QUEUE to Add)	PRT	どのような名前でも構いません。
リモート・サーバーのホスト名 (HOSTNAME of remote server)	PRTNAME	任意指定のホスト名を入力する場合は、ここにその名前を入力します。あるいは、プリンターのIPアドレスを使用して下さい。
リモート・サーバー上のキュー名 (Name of QUEUE on remote server)	LP2	LP1、LP2、LP3、LP4から選択します。
リモート・サーバー上のプリント・スプーラのタイプ (TYPE of print spooler on remote queue)	BSD	示されているとおりに入力するか、F4を押してリストから選択します。
バックエンド・タイム・アウト間隔 (Backend TIME OUT period)		AIXとプリンター間の通信タイムアウト値を秒単位で指定します。指定時間プリンターから応答が無いと、AIX待ち行列が停止します。

5. パネルの記入を完了すると、**コマンド状況 (Command Status)** ウィンドウが表示されます。
 6. smittyを終了します。

2.2 AIX構成を確認する

印刷ジョブをプリンターに送信するには、次のいずれかのコマンドを使用して下さい。

```

qpri ? P 待ち行列名 ファイル
lp ? d 待ち行列名 ファイル
lpr ? P 待ち行列名 ファイル
enq ? P 待ち行列名 ファイル

```

パラメータ	説明
待ち行列名	プリンターに割り当てたAIX待ち行列の名前を指定します。
ファイル	印刷ファイルの名前を指定します。